

## **及川潤耶（ドイツ・カールスルーエメディア芸術センター 客員芸術家）公演決定**

### **サウンド・インスタレーション／新作音響作品を京都寺院の庭園で日本初演！**

このたび、作曲家／サウンド・アーティストである、及川潤耶の公演「VOICE LANDSCAPE - ta ka ta ka Crickets」を2015年5月22日（金）に、京都・法然院にて開催することを決定いたしましたので、ご案内いたします。及川潤耶は、2011年からヨーロッパ最大級のメディア芸術センターであるドイツ・カールスルーエメディア芸術センター（ZKM）を拠点に国際的な活動を行っています。今回発表するサウンド・インスタレーション「VOICE LANDSCAPE」は、作家自身の「録音した声」を虫の声や風の囁きなどに変換し、自然の環境音と呼応するシリーズです。任意の環境に設置した超小型スピーカーから再現されるこの詩的な音の気配は、現実のサウンドスケープと融合しあい、自然環境のためのファンタジーが生み出されます。

本公演では、京都・法然院の趣深い日本庭園において、「ta ka ta ka Crickets」が日本初公開されます。観客は庭園を自由な位置から眺めつつ、刻々と変化するサウンドスケープに耳を澄ませます。また、生演奏のコンサートとして、及川の演奏によるエレクトリック・ギターと電子音響のための新作が発表されます。さらに、京都大学教授である吉岡 洋氏をゲストにお迎えし、電子音響音楽の美学的側面についての討論を行う予定にしております。及川は、2014年にはフランスのデジタル・アート・フェスティバル「バン・ヌーメリック」で批評家賞を受賞するなど、海外でも高い評価を受けております。皆様には、ぜひこの機会にご取材・ご紹介をお願いいたします。

#### **及川潤耶 Junya Oikawa VOICE LANDSCAPE - ta ka ta ka Crickets**

日時：2015年5月22日（金）

場所：京都・法然院（606-8422 京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町30）

入場料：1,000円（学生500円）

17:00～ サウンド・インスタレーション展示

19:00～20:00 対談「及川潤耶×吉岡 洋（京都大学 教授）」、コンサート（新作初演）

助成：公益財団法人 野村財団、公益財団法人 朝日新聞文化財団

協力：東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）、法然院、onpa))))

※日本電子音楽協会にて最新インタビュー公開中 <http://jsem.sakura.ne.jp/jsemwp/?p=1251>

#### **及川潤耶（作曲家／サウンド・アーティスト）**

1983年仙台市出身。ドイツ在住。東京藝術大学 大学院 美術研究科 先端芸術表現 修了。2011年よりドイツ・カールスルーエメディア芸術センター（ZKM）の客員芸術家として渡独。近年の主な活動として「第23回ヨーロッパ教会音楽祭」のための新作「Bell Fantasia」（2012）、フランス最大の電子音楽賞「Quartz Music Awards」実験／研究部門において、同作が最高賞を受賞（2013）、北ドイツにて個展「Transcription of the Voice」開催（2013）、フランスの電子芸術祭「Biennale Bains Numériques」批評家賞受賞（2014）、カナダ・セント・アンドリュースの国指定史跡を舞台にした個展（2014）、立体音響空間「IOSONO-3D Lab」のためのソロ・コンサート（2015）などがある。

#### **本件へのお問い合わせ**

engine books - engine music 川崎弘二 090-8208-9291 [ks-koji@nifty.com](mailto:ks-koji@nifty.com)

画像・テキストデータなどのダウンロード <http://koji.music.cocan.jp/oikawa.html>

※5月6日（祝）、7日（木）は、及川は京都で取材を受けることが可能です。

東京では5月1日（金）以降のご希望の日時をお知らせください。